

令和4年度 蔵書評価 実施報告

実施日 令和5年1月27日(金) 10:00~12:00

評価分野

- 490 基本書・辞典類
- 493 医学(内科学)
- 498.5 栄養学
- 499 薬学

※関連雑誌についても、ご意見をいただきました。

評価者 医師 1名
薬剤師 1名
栄養士 1名

診断方法 各分野の開架の蔵書を診断者が確認し、蔵書の構成や気づいた点を蔵書評価書に記入する(評価書は後日送付していただいた)。

診断結果

総評・留意点

- ・図書館の分類(NDC)による配置が、医学の疾病分類(ICD-10)と合致していない。疾病分類(ICD-10)と照らし合わせ、資料の配置を考えると、利用者がより使いやすいのではないかと。
- ・国や県が推進しているがん対策については、早期発見、検査、予防、支援体制なども含めた特設コーナーも検討するとよい。
- ・教科書的なもの、診療(治療)ガイドラインは、定期的に改訂されており、更新するとよい。
- ・その他、良書を推薦。

490 基本書・辞典類

- ・「今日の治療薬」、「今日の治療指針」は最新の物を揃えるとよい。
- ・国立がん研究センターのパンフレットが全体として古い。

493 医学(内科学)

- ・がんについては、検診を促す本、小児及びAYA世代(思春期、若年成人)のがんに関する本があるとよい。
- ・神疾患については、よく揃っているが、国・県で推進する自殺対策に関する資料があるとよい。(例:ゲートキーパー(命の門番)、傾聴、職場における心の健康、など。)
- ・性同一性障害に関する本について、新しいガイドラインがあるとよい。
- ・循環器病(脳卒中、心血管疾患、小児慢性特定疾病:慢性心疾患)に関する資料を収集する。
- ・糖尿病について、糖尿病性腎症、慢性腎臓病(CKD)があるとよい。糖尿病から派生する「AED」・「慢性腎臓病(CKD)」・「腎臓透析」・「歯科」・「誤嚥性肺炎」がまとまっているとよい。
- ・感染症法の概説、感染症分類の概説と感染症名に関する本、感染経路別対策(空気、飛沫、接触、母子感染)、標準予防策に関する資料があるとよい。
- ・新型インフルエンザ/鳥インフルエンザのわかりやすい解説本、冊子があってもよい。
- ・結核、性感染症に関する本が少ない。
- ・食中毒をはじめとした腸管感染症の本があるとよい。
- ・肝炎対策の推進をアピールする本、冊子など新しいものが望まれる。

- HIV/AIDSも治療法が進歩している。早期発見につながる本、があるとよい。
- 世界的にとりくむべき薬剤耐性拡大防止 (AMR)に関する実用書、ワンヘルスアプローチ(人・動物・環境)等に関する本、冊子があると良い。

498.5 栄養学

- エビデンスのある専門書が少ない。
- 「食品表示」に関する本は、内容が大きく改訂される年がある。改訂8版が書架にあるのでよい。
- 「日本人の食事摂取基準」が5年ごとに改正される(次回は2025年)。2025年の改正後に、栄養学の資料を収集するとよい。
- 食事療法に関する本が、「栄養学」ではなく、各疾病の棚にある。「栄養学」の棚に、「食事療法に関する本は各疾病の棚にある」等の表示があるとよい。

499 薬学

- 漢方薬についてはエビデンスがあり、医学書として購入して問題ない。
- 「インフルエンザ／新型コロナウイルス感染症診療ガイド」が古い(コロナの抗ウイルス剤が新しく承認されている)。
- 関節リウマチについて、治療薬が進歩したので、関連資料を更新するとよい。
- 薬物依存症について最近の治療書籍を収集するとよい。

雑誌

- 「Nutrition Care」(栄養学。一般・専門家向け)があるとよい。

今後の対応

- 推薦を受けた資料の収集を検討する。基本書、診療ガイドラインについては、新しい版の収集に努める。
- 案内表示について、検討する。
- 本の配置(医学分類と図書館の分類の齟齬)について、実態を把握する。